

住宅講演会 「広島のこれからの地域型木造住宅」を考える

社会活動委員会 住宅研究会 松岡 友夫



2月16日、「Ms 建築設計事務所」（以下「Ms」と記載）の三澤康彦氏、「MOK-MSD」の三澤文子氏を講師にお迎えして、住宅研究会と広島県木造住宅生産強化推進協議会の連携で講演会を開催。約120名の参加がありました。

◆Ⅰ部 「最高の木造住宅をつくる方法」

（三澤康彦）

日本は木の文化の国と言われているが、木造住宅を設計する機会は少ない。しかし、木は生活に根差していると考え。木造住宅は断熱性能がネックだが、30年前と比べて現在は断熱性能、耐震性能が格段に進歩。「Ms」の設計作法として、1間ごとに柱を立て、真壁造りを基本とする。設計は図面を描くだけでなく、最初から全ての木拾いも行う。架構が一目で分かるよう30分の1の軸組模型を作る。住まい手との協議の中で、ベストプランの1案のみを提案。林産地（林業家）と住まい手が木材の直接売買契約を結び、「Ms」は木材手配の段取りを行う。工事契約書に10分の1の枠詳細図まで添付し、木造の数量、価格、工事費を明確にすることで工務店との信頼関係を構築。設計だけでなく、竣工後のメンテナンスも行い続け、クライアントの満足を得ることを目標にしている。住宅着工件数が減少する中では、技術力、資金力、伝達力、行動力、デザイン力に関して卓越した能力が必要とされ、更に見識のある人格を持つ設計者に依頼がくる。

◆Ⅱ部 「環境時代と木造設計」

（三澤文子）

静岡県で自分の山の木を使った農家の住まいを設計。杉を伐採し、製材所からプレカット工場を経て建築現場まで、半径5キロ圏内での地産地消の家づくりとなった。ウッドマイルとしては優等生であった。木材の含水率やヤング係数を調べ、更に外張り断熱の熱損失係数（Q値）や熱貫流率（U値）について、データーで管理し、徹底し

た品質管理を行っている。

奈良県で行った蔵の改修での設計手法は、事前調査＋詳細調査＝診療レポートにまとめ、これを「木造建築病理学に基づく改修治療」と呼んでいる。調査期間は1カ月で、診断の結果をQ値、U値で数値的に評価し、ビフォー（現況調査）とアフター（改修計画）としてまとめている。環境時代には治癒力を持った設計士が求められている。改修工事は、改修費用を説明し、住まい手と話し合い、改修するかやめるかを決めれば良い。また、住まい方のアドバイスを行うことも重要。設計に当たり①架構からのデザイン②長寿命住宅（創造性、耐火性、耐久性）③優美なる木造空間④省エネ・環境共生住宅（冬暖かく、夏涼しい）⑤美しい町並み・景観をつくる住宅（町に緑を）をコンセプトとしている。

◆Ⅲ部 広島のこれからの地域型木造住宅についての意見交換

〔三澤康彦、三澤文子、今井信博（司会進行）、向山徹〕

「木の香る住宅工房」の向山徹さんが設計した住宅を紹介しながら、今後の地域型住宅についてどう取り組むか、意見交換を行いました。（以下、内容の要約です）

地域性の違いとは気候帯の違いでしかない。地域型住宅といっても今日の流通が発達した中では、県内産だけで住宅を建てることは困難。今や住まいの形、プラン、形状、デザインで地域性は出てこない。結果的に、県産材を産業として発展させることで地域の産業が活性化し、雇用が生まれ、全国的なブランド商品となる。



三澤康彦氏・文子氏による木造住宅「楓の家」内観

MONTHLY 建築士
No.81

HIROSHIMA



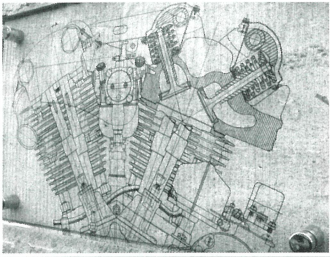
表紙写真について

MOTORCYCLES BANKARA TOKYO
(モーターサイクルズ バンカラ 東京)

- 設計／永井 敬 建築デザイン事務所
- 施工／IKIコーポレーション
- 所在地／東京都渋谷区恵比寿西
- 構造規模／鉄筋コンクリート 7階建
- 店舗面積／約62㎡
- 工事内容／1Fテナント 店舗改装工事
- 竣工／平成21年12月



オリジナルにこだわる、1930年～40年代を中心にしたヴィンテージハーレーショップ。



「ハーレー＝アメリカ」のイメージを、敢えてヨーロッパテイストにというオーナー様からのご要望により、コーニスモールディングやモルタル造

形による石積みを表現しました。アルミドアは、エージング塗装で木目に。ファサードはギリシャ建築をイメージしたFRP製のサインレリーフを制作。

恵比寿という、オシャレな街並みにしっかりと佇むこの店舗は、今ではハーレー好きの芸能人も訪れる憩いの場となっているそうです。

昨年5月、サービス工場も充実した「BANKARA目黒店」の設計施工もさせていただきました。

公益社団法人移行のご報告

専務理事 山口 邦良

平成25年4月1日、公益社団法人に移行しました。公益法人制度の抜本的な改革に向け、法人関連3法案が平成20年12月1日施行され、本会は5年以内に新法に基づき、公益又は一般法人への移行が必要となりました。平成23年度から公益法人移行検討会議及び意見交換会を開催し、議論を重ね、公益法人に移行することで最終的に決定をしました。

平成24年7月6日に移行認定申請書を提出し、県の内容審査を経て平成25年2月、一次審査を通過。3月の審査会に諮問の上答申を得て、3月下旬に認定、4月1日法人登記となりました。

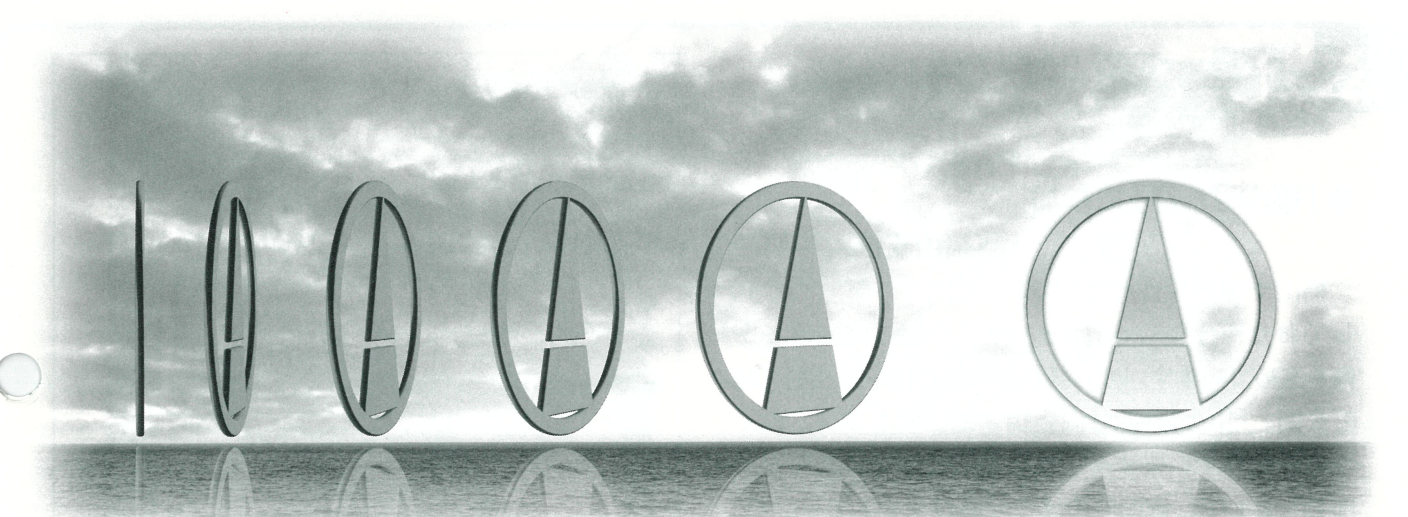
公益法人移行後も、従来の活動が大きく変わるということではありません。新定款に基づき規律を順守し、全体事業費の50%以上を公益目的事業とし、広く社会公共の福祉の増進と、建築文化の進展に資することを目的として活動を行っていきます。

支部は任意の活動団体となりましたが、これまでの活動を継続し、建築士の職能を活かすことにより、地域の住民と協働し、貢献活動をさらに進めて参ります。

今後とも、会員の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成25年度 定時総会及び
公益社団法人移行記念講演会について

本年度は公益法人移行のご報告も兼ねて、定時総会 日時：平成25年5月29日(水) 午後2時より(予定)
に引き続き、記念講演会、懇親会を予定しております。 会場：ANAクラウンプラザホテル広島



安全で安心な住まいづくりをサポートします。

> 事業内容 ① ② ③ ④

住宅性能評価業務
登録住宅性能評価機関として国土交通省中国整備局へ登録し、住宅についての性能を10の分野にわたってチェックし、安心で良質な住宅の取得を支援します。
◎設計住宅性能評価(新築) ◎建設住宅性能評価(新築) ◎建設住宅性能評価(既存)

長期優良住宅技術的審査業務
所管行政庁が行う長期優良住宅建築等計画の認定を支援するため、認定申請に先立って、申請者の依頼に応じて当該計画に係る技術的審査を行い、適合証を交付します。

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
本社／〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10 TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所／〒720-0034 福山市若松町8-22 TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974 | www.hkjc.co.jp

株式会社 ティーエス ハマモト
一級建築士事務所 ISO9001 認証取得

**大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工**

TOTAL STABILITY
HAMAMOTO

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています
(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

■ 指定確認検査機関	■ 登録住宅性能評価機関	■ 指定構造計算適合性判定機関
■ 登録建築物調査機関	■ 適合証明業務(フラット35)	■ 長期優良住宅認定審査業務
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務	■ 調査診断業務(耐震診断等)	■ 耐震診断判定業務
■ 住宅エコポイント関連業務		

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。

株式会社 **ジェイ・イー・サポート**
代表取締役 石山 講

本社〒730-0029 広島市中区三川町7-1 SK広島ビル4F
TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190
e-mail: mail@jesupport.jp
支店:東京・札幌 営業所:呉

平成25年度 定期講習について

当会では、(財)建築技術教育普及センターが主催する「定期講習」の受講受付、講習運営を行っております。今年度のスケジュールは以下の通りです。

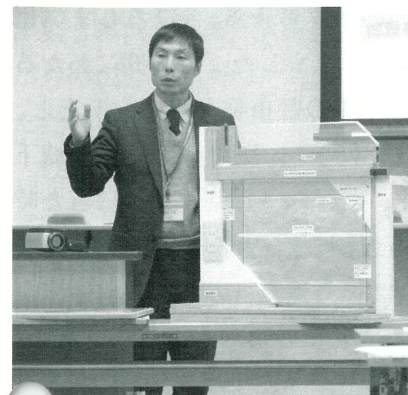
開催日	会場	受付期間	会場コード
10月9日(水)	福山商工会議所	6月3日(月)～9月20日(金)	6D-01
11月12日(火)	広島県情報プラザ	6月3日(月)～10月18日(金)	6D-02
12月4日(水)	広島県情報プラザ	6月3日(月)～11月15日(金)	6D-03 (DVD講習)
平成26年 2月19日(水)	広島県情報プラザ	6月3日(月)～平成26年 1月31日(金)	6D-04
平成26年 3月5日(水)	広島県情報プラザ	6月3日(月)～平成26年 2月14日(金)	6D-05 (DVD講習)

◆受講申込の受付(郵送可)
広島県建築士会本部(広島市中区千田町3-7-47-5F)

- ◆受講申込書の配布
4月中旬～(予定) HPからもダウンロードできます。
- ◆配布場所
広島県建築士会本部・福山支部
広島県建築士事務所協会
- *早い時期の受講をご希望でしたら、広島県建築士事務所協会(082-221-0600)にお問い合わせ下さい。
6月初旬と9月中旬に開催予定です。
- *22年度(H22年4月～H23年3月)に受講された方は、2回目の講習になります。
- *新しく建築士登録をされた方(H22年度{H22年4月～H23年3月}登録)で、設計事務所の建築士として登録している方は、この25年度中に1回目の受講義務があります。(以後3年度ごとに受講)
- *設計事務所の建築士として登録している者は、3年度ごとに「定期講習」を受講することが義務付けられています。
- *「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して、管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなればなりません。

地域だより 第3回 省エネ対策講習会「断熱リフォーム商材～ココエコ～」 呉 青年委員会 日浦 心一

1月25日(金)、呉工業高等専門学校で第3回省エネ対策講習会を開催しました。今回は講師として「(株)LIXIL広島DSセンター」の甫出氏と田中氏をお招きしました。



「断熱リフォーム商材～ココエコ」とは、外気に面している窓・壁・床にわずかな薄さの真空断熱材のパネルを利用することにより、大きな断熱効果を発揮するリフォームの工法です。また、部屋単位でリフォームできることも、この商品の特徴になります。

真空断熱材は、お湯を長時間保温する魔法瓶や、冷気をしっかり閉じ込める冷蔵庫などに採用されている高性

能な断熱材です。パワーポイントによる講義の他、実物のパネルや模型の見学もあり、断熱効果を肌で感じることで、商品についてより理解を深めることができました。質疑応答の際にもたくさんの質問があり、講習会に来られた皆様はとても興味を持って下さったと思います。私たち青年委員会にとっても、大変勉強になりました。



ぷろじえくと ニュース PROJECT NEWS

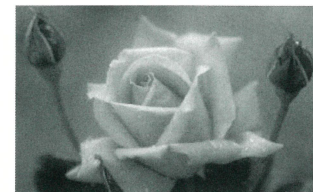
●「福山ばら祭」に参加!

福山支部青年部会

福山支部青年部会は毎年、「福山ばら祭」へ参加しており、今年も5月18・19日の祭りに向けて準備を進めています。ばら祭り会場は、「ばら公園」「緑町公園」「中央公園」「商店街・福山駅エリア」の4つに分かれていますが、青年部会は「ローズパーク部会」として、御門町のばら公園のライトアップや、親子を対象としたイベントを企画・運営します。

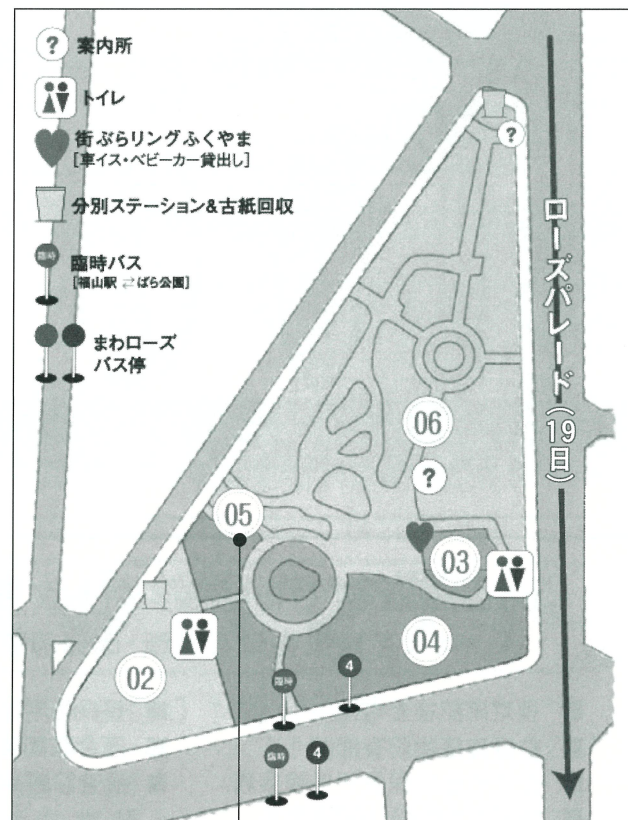
19日にローズ公園横を通過するローズパレードには、東京ディズニーリゾートからミッキーマウス他ディズニーの仲間たちがやってきます。

福山は100万本のバラの街を目指していますが、「ふくやま」と名の付くバラが8種類あるのをご存



「福山城」施工95周年を記念して
寄贈された紫・ピンクの大輪

じですか? 「ばら公園」にはその内6品種が植えられていて、当日は特別に苗の販売も行われます。「福山ばら祭」へ出掛けてみませんか?



青年部会が主催する
「みんなでつくろうキャンドルグラス」

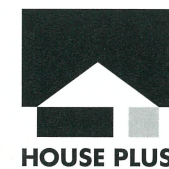
(HP: <http://bara-matsuri.jp/>)



指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

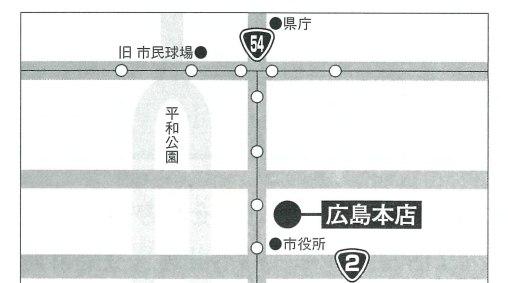
登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL: 082-545-5607(代表) FAX: 082-545-5608



地域だより 広島 「ひろしま文化都市フォーラム2013」 「ひろしまの都市格と暮らし」のまとめ

広島支部 まちづくり委員会委員長 三島 久範

これまで日本の各都市は、工業化社会の経済成長に合わせて道路や建物をつくり、都市をつくってきました。そして、ポスト工業化社会の訪れと共にその一通りの整備を終え、製造業の設備投資が海外へ移りつつある現在、各都市はこれからの展望を描けないまま、その施設の維持管理に追われています。

しかし、シンガポールやポートランドのような1部の都市では数十年前から、情報技術が進歩し、グローバル化が進むポスト工業化社会では、モノづくりの現場以外の企業や個々の事業者は、仕事場と遊び場を一体的に捉え、住環境や文化度、安全性や利便性などを兼ね備えた、多様で自由な都市の暮らしを選ぶようになると考え、その価値に合わせて都市を更新してきました。そして現在では、世界から多くの人たちが訪れる都市となり、次なる豊かさを享受しています。

■第1部 グリーンネイバーフッド（環境共生時代の新しい都市生活像） 「ポートランドにみる環境先進都市のつくりかたとつかいかた」

話題提供 吹田 良平氏（アーキネティクス 取締役）

吹田良平さんから、全米で今1番住みたい街と言われているポートランドの街づくりについてお話しいただきました。吹田さんはご自身の著書の中で、「1900年初頭は、鉄道の操車場及び輸出用農作物などの倉庫基地であったポートランドのパールディストリクトは、1950年代に輸送手段がトラックに移行したことによってブラウンフィールド（工場跡地）になった。しかし1980年以降、地元のデベロッパーが貸倉庫の再活用を開始し、市との共同開発となるPPP（Public Private Partnership：官民連携）の契約を締結した後、都市再生は大きく進展し、約10年間で『全米で最も成功した都市再生プロジェクト』と言われるようになった」と書いておられます。

そして今回のご講演では、パールディストリクトの現状をスライドで紹介されながら、この街には3つの大きな特徴があり、その計画を常に見守り検討するPDNA（パールディストリクト・ネイバーフッド・アソシエーション）があることを説明され、これからの街づくりは、時には嫌われるほどの個性をつくり、多くのファンを得ることが大切になるということについて話されました。

ポートランドの街の3つの特徴

1) アーバンネイバーフッド (urban neighborhood) を実現する街づくり

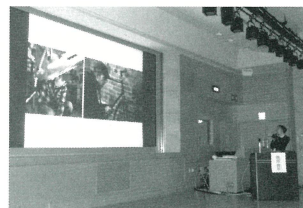
様々な人と様々な生活が混在する健全な街づくり（アフターダブル住宅の計画等）

2) ローカルファースト (local fast) を 目指す街づくり

ナショナルチェーンよりローカルビジネスインディペンデントを大切にす街づくり

3) カルチュラルハプニング (cultural happening) を楽しむ街づくり

ストリートや各施設を解放したギャラリーイベント、街の真っ只中でクリエイティブシンカーを育てているアートカレッジ、街を疾走するプロの自転車レースなどの出来事を楽しむ街づくり



このため、まちづくり委員会では、街の歴史が約70年前に一旦途絶え、戦後復興と工業化社会の進展の中で新たにつくられてきた広島を、次世代の豊かさに向けてどう更新していけばよいのかを考える、「ひろしま文化都市フォーラム」を開催してきました。4年間にわたるシリーズテーマを「ひろしまの都市格と暮らし」とし、2010年～2012年までの3回は、江戸時代後期の城下町広島の歴史や生活文化、「学都」「軍都」と呼ばれた時代の「廣島の旦那衆と街と暮らし」、戦後復興のまちづくりと暮らしなどについて振り返りながら、過去の広島の都市格と暮らしについて考えました。そして2013年は、米国ポートランドの都市再生を学びながら、環境共生時代の新たなひろしまの都市格と暮らしについて考えました。以下、第4回の「ひろしま文化都市フォーラム2013」の報告です。

■第2部 「2045年を目指した広島のソーシャルビジネスとエリアデザイン」

話題提供 パネリスト／平尾 順平氏（ひろしまジン大学 学長）

／四居 敬三氏（うらぶくろ商店街振興組合 副理事長）

／今井 信博氏（現代計画研究所 代表取締役社長）

／国本 善平氏（広島市役所／おやじ活性化委員会）

コーディネーター／三島 久範氏（GKデザイン総研広島 都市・建築デザイン部 取締役部長）



第2部前半では、上記のパネリストの方々からそれぞれの活動をご紹介いただき、後半は各々の立場から、これからの広島がどのように変わっていけばよいか、そのポジティブチェンジとはどのようなものかについてお話しいただきました。

以下、後半のディスカッションの主な内容です。

民が主体となり街のビジョン (将来像)を描く

これからの街づくりは、その街の人々が自分たちの街の経営について、その街の固有な環境や出来事を共創していくことが大切になるため、その街のビジョン（将来像）は行政より民間（市民・事業者）が主体となって描かなければならない。

モチベーションリーダーを 醸成する

1つの街のビジョンを描き、それを実現していくためには、常にその街の計画を考え、コミュニティを見守り、各事業を前に進めるコアメンバー（モチベーションリーダー）の存在が大切になる。

街の将来像を共創する-1 (街づくりに向けた所有の提供)

地主や店舗事業者は、自分の利益だけを考えるのではなく、自分の街（敷地外）にまず目を向け、そこにあるビジョン（将来像）を共有し、その街づくりとともに自分の土地活用や施設づくりを考えることが大切である。

街の将来像を共創する-2 (街の環境をつくる建築等)

建築士などの専門家も同様に、自分の枠内の仕事だけを考えるのではなく、自分が関わっている敷地外に目を向け、そこにあるビジョン（将来像）を共有し、その街づくりに合わせた環境づくりを考えることが大切である。

■次世代のひろしまの街づくり

一次なる豊かさにつながるローカルファーストの街づくり

企業や個々の事業者が仕事場と遊び場を一体的に捉え、仕事場となる街をトータルなライフスタイルの場として選ぶようになるポスト工業化社会において、広島がその豊かさに値する街になるためには、ポートランドの事例から学んだような「ローカルファーストの街づくり（地域固有の多様な人・モノ・空間・時間を楽しむ街づくり）」について、地域の事業者や市民が主体的に考え、その価値を高めることを目指して、現在の街を更新していく必要があると思います。

そして、それを実現していくためには、そこに関わる利害関係者が、その多様な街づくりが自らの利益にもつながることを理解し、PPP（官民連携）を通じてその街づくりに参画し、そこで生まれるローカルビジネスインディペンデントのつながりを、地域の利益循環につなげていくことが大切になります。

また、今回のパネリストの発表から、“うらぶくろ商店街振興組合”は既にそのローカルビジネスインディペンデントによる「ローカルファーストの街づくり」に取り組んでおられ、“ひろしまジン大学”は、様々な地域社会の共創や共生を考えるプロジェクトを展開しておられることが分かりました。このためこのような取り組みを通じて、今後、広島を地域固有の多様な時間を楽しむ街に更新していくのであれば、我々建築士はこれまでの職能の枠を越えて、その環境をつくる知恵と技術を身に付ける必要があると思います。

4回のフォーラムの詳しい内容は、今後、ひろしまの都市格と暮らしを語る1冊の本（資料）にまとめる予定です。また、「ひろしま文化都市フォーラム2010～2012」の詳しい内容につきましては、現在、広島支部のホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

◆PDNA（街のコミュニティを多方面から見守るNPO）

主な活動内容は「都市計画、交通計画、建物及び空間のデザインレビュー」と「生活環境のアメニティを保つための具体的活動」に大別される。